

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	裾野市			代表者名	市長 村田悠
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報システム課	連絡先電話番号	055-995-1805
担当者役職	主査	担当者氏名	眞田洋明	連絡先E-mail	
住所	410-1192 静岡県裾野市佐野1059番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタルツールの活用		
概要	デジタルツールの活用の加速化のため、Microsoft365の具体的な活用方法を実務レベルでご支援いただき、またその活用の先に得られるDXについて、ICTを推進する庁内委員をはじめとした職員にご講演いただくアドバイザー支援を受けたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月10日	支援・助言&フォローアップ(オンライン)	13時00分	15時00分	
			活動時間（分）	120	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中村 祥子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	中村アドバイザーのこれまでの実務に裏打ちされたツールの使い方や事例が、裾野市が抱える実装できていない理由として明確にマッチしており、今後の実務に直結するアドバイスが得られた。3回目はこれまでの支援に対して裾野市が具体的なアクションを起こす計画案を提示しそのフォローアップ支援と位置付けており、想定する進捗が達成できたため。
アドバイザーへの要望事項	前回に引き続き資料の共有をいただいた。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	7人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	7	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	前回課題で、MS365の導入からすでに1年以上たっている中で、活用が進まない理由として、旧態依然の運用方法で「困っていない」ことから運用を変えることの必然性を理解できないことが挙げられる。またこの状況はMS365だけでなく各種デジタルツールの活用に共通して持つべき観点であるため、人材育成の面からも是正していきたいことを挙げていた。このことをもとに「いつ・誰が・なにを・どうする」を明確にしたアクションプランを立てて着実に進めていく必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	これまでの2回の支援をもとに、MS365の職員展開と定着に向けたアクションプランとなりうるマイルストーンの設定を完了させて、次年度の予算執行のタイミングからスタートダッシュがかけられるように事前の準備を最大限に進めることを目的としている。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	既存のグループウェアの置き換え機能に固執することよりも、既存ツールで何が実現されているかに焦点を当て、運用面での変革を前提としたMS365の利用方法を展開することが重要であること。加えて、ツールの定着に向けて組織浸透施策としての草の根の活動(個別の運用支援)や動画マニュアル、参加型イベントの実施などADKARモデルに基づいた取り組みにより心理的ハードルを下げることの必要性の説明を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	業務アプリケーションの内製化が可能なツールを内包していることから、PowerPlatformの活用やFormsの日常利用の推進をすることで、MS365そのものの設計思想に触れる時間を増やし、自らの業務にデータ連携による相乗効果を生み出せるような業務方法の文化変革を起す必要性の指摘があった。このことから、次年度のシステム展開時には人材育成を必ずセットにした計画にしておくことを確認した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	令和8年4月からMS365の全庁展開に着手し、上半期において基本的な運用の固定化と定着に向けた研修を実施する。下半期において定着をもとにした運用の拡大に向けた計画を実施していくことなど、具体的なマイルストンの設定ができた。また、MS365の導入だけでなく、その他のデジタルツールの刷新に伴う全体計画を策定する方向性を決定した。また、予算査定時にはアドバイザーに支援いただいた具体的な研修方法等を盛り込むことができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次年度予算によりデジタルツールとしてのMS365の全庁展開に移行していくため、現時点で解決すべき内容は解決できた認識をしている。一方、実務として動き出した際にこれまで見落としとして課題が明らかになる可能性がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート無し:3回目の支援はデジタル部職員が今後のMS365の活用の実効性を高めるためのフォローアップ支援という位置づけになっており、アンケートによる評価の趣旨が伴わないため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	4-2に記載のとおり、次年度実施のための予算化を図りアクションを起こすめどが立った。アクションプランの実施による適正運用を図る。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> MS365の活用拡大により二重投資とみられる旧システムの廃止を実施する。 デジタルツールの活用により業務負荷の軽減を享受できる状態にする 新しい取り組み(変革)が面倒な作業だけでなく、職場環境の改善につながる体験を職員がし、継続的な改善サイクルが生み出せる組織体制へつなげていく。(1日目、2日目回答に同じ) 	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。



